

目標の柱	5	町民と行政との協働によるまちづくりと未来を拓く行政経営
基本目標(政策)	5-1	地域力の向上を図ります
基本計画(施策)	5-1-3	・協働によるまちづくり

	課	係
主管課・係	総合政策課	企画政策係
	各総合支所振興課	企画観光係
関係課・係	総合政策課	地域振興係
	商工観光課	商工振興係

**【施策の目的と取組・現状分析】**

<p>1 施策の目的(対象・意図)は何ですか？ ※対象(誰が、何が)、意図(どのようになることを目指すのか)を対象ごとに記載してください。</p>	<p>①町民が主体となって様々な取組を実施している。 ②町民の取組に参画する「行政参加型」が新たな主流になっている。 ③町民、議会、行政が、互いに役割を認識し協働のまちづくりが進められている。</p>																																																																								
<p>2 「目指すべき状態」になるための成果目標は何ですか？</p>	<p>▼「目指すべき状態」を実現するために目標とする成果は何ですか？箇条書きで記載してください。</p> <p>①町民の自主的活動の充実。 ②行政依存から脱却し、町民が主体となった自主的な取組が増えている。 ③町民の自発的、主体的な活動を支援し、協働のまちづくりを進める。</p>																																																																								
<p>3 成果指標の状況(☆は追加した指標、※は変更した指標)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">A</th> <th rowspan="2">元気のでる地域づくり支援事業実施団体数</th> <th rowspan="2">単位</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th colspan="2">令和4年度</th> </tr> <tr> <th>実績値</th> <th>実績値</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>団体</td> <td>7</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>10</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>”(累計)</td> <td>団体</td> <td>82</td> <td>87</td> <td>93</td> <td>110</td> <td>99</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>D</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	A	元気のでる地域づくり支援事業実施団体数	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		実績値	実績値	実績値	目標値	実績値			団体	7	5	6	10	6	B	”(累計)	団体	82	87	93	110	99	C								D								<p>4 成果指標の実績値は目標値に対してどうでしたか？</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価</th> <th colspan="2">▼その理由として考えられること</th> <th rowspan="2">見込み</th> <th rowspan="2">▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方</th> </tr> <tr> <th>A</th> <th>B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>④ 下回った</td> <td>新規団体の申請が少ない。</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td></td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>④ 下回った</td> <td>新規団体の申請が少ない。</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td></td> </tr> <tr> <td>C</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">/</td> <td></td> </tr> <tr> <td>D</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">/</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>5 令和4年度の目標値達成の見込みと方向付け</p>	評価	▼その理由として考えられること		見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方	A	B	A	④ 下回った	新規団体の申請が少ない。	/		B	④ 下回った	新規団体の申請が少ない。	/		C			/		D			/	
A				元気のでる地域づくり支援事業実施団体数	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																																
	実績値	実績値	実績値			目標値	実績値																																																																		
		団体	7	5	6	10	6																																																																		
B	”(累計)	団体	82	87	93	110	99																																																																		
C																																																																									
D																																																																									
評価	▼その理由として考えられること		見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方																																																																					
	A	B																																																																							
A	④ 下回った	新規団体の申請が少ない。	/																																																																						
B	④ 下回った	新規団体の申請が少ない。	/																																																																						
C			/																																																																						
D			/																																																																						
<p>6 施策の目的に対して、今まで実施してきたことはありますか？</p>	<p>・まちのお知らせやホームページで事業内容の周知に努めた。 ・元気のでる地域づくり支援事業をはじめとする、各種補助金事業の申請方法や事業内容等に対して助言した。</p>																																																																								
<p>7 町民等の外部意見を聴取する仕組みと反映状況を記載してください。</p>	<p style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> 有      <input checked="" type="checkbox"/> 無</p>																																																																								

**【施策の振り返り】**

<p>8 「2 成果目標」に対する有効性(成果が上がった点・問題点)</p>	<p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・元気のでる地域づくり支援事業は、補助金の支援期間終了後も継続して活動している団体が多く、協働のまちづくりの一助となっている。</li> <li>・コロナ禍による活動制限も緩和され、事業規模も拡大した。</li> </ul> <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金の支援期間終了とともに、交付団体の活動が終了してしまう。</li> <li>・補助金に依存しない、自立的・継続的なまちづくり活動を展開する必要がある。</li> </ul>
<p>9 本施策の類似性</p>	<p style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> 有      <input checked="" type="checkbox"/> 無</p>
<p>10 本施策の効率性</p>	<p>・町民の自発的・主体的な活動を支援することで、町民と行政との協働によるまちづくりの推進に寄与する。</p>

**【結論として・・・(施策の振り返りも踏まえて)】**

<p>11 自己評価や外部意見を踏まえた施策全体の今後の方向性</p>	<p>・多様化する町民のニーズに対応するためには、協働によるまちづくりの推進は不可欠であり、限られた財源と人材の中でも引き続き町民の自主的・主体的な活動を支援し、自立的・継続的なまちづくり活動を展開していく必要がある。</p>
-------------------------------------	---

12 施策を構成する事務事業

番号	事務事業名 (令和5年度新規事業 に★)	所管課 担当係	事業の目的、概要、成果、問題、問題に対する対策を簡潔に記載してください。(2行以内)			
			事業費(千円)			
			令和2年度決算額	令和3年度決算額	令和4年度決算額	令和5年度予算額
01	元気のでる地域づくり支援事業	総合政策課	目的	本町に住所を有する者により組織された団体が行う、地域資源を活用した地域力の向上に資する発展・持続性の高い事業に対して支援を行い、地域活性化を図る。		
			概要	住民が自発的に行う地域力向上や地域再生等につながる事業へ補助金を交付した。		
			成果	6団体(継続4団体・新規2団体)から申請があり、地域資源を活用したさまざまな事業展開によって地域が活性化するとともに、地域・団体相互の連携につながった。		
		地域振興係	問題	補助金の支援期間終了後に、自主財源のみで活動を継続できない団体が多い。		
			対策	①継続 自主財源の確保や継続的な事業運営に対する助言等に努める。		
			事業費	1,968	3,500	3,600
02	南郷豊年まつり実行委員会補助金	南郷総合支所振興課	目的	住民自らの運営による「まつり」を開催し、多くの地域住民に関わってもらうことにより地域活性化を図る		
			概要	実行委員会を組織し住民自らの発想から、幅広い年代の方々が集まる手作りの「まつり」を開催する。		
			成果	新型コロナウイルス感染症拡大により実施できなかった。		
		企画観光係	問題	今後コロナ禍での開催の方法やスタッフの減少により、活動の縮小が危惧される。		
			対策	①継続 開催方法の見直しや人材育成について検討する。		
			事業費	0	0	350
03	地域協議会運営事業	総合政策課	目的	地域住民の意見を行政運営に反映させるとともに行政と住民との連携を強化し、もって住民自治の推進を図るため、地域自治会を設け地域協議会を設置。		
			概要	地域協議会は、町長その他の町の機関により諮問されたものまたは必要と認めるものについて審議し、町長その他の町の機関に意見を述べる事ができる。		
			成果	町の政策に対する意見を提案した。		
		地域振興係	問題	会議に出席する委員の負担や、地域協議会の存在・活動の衰退が危惧される。		
			対策	①継続 町への意見提言だけでなく、地域協議会が主体となった事業の検討をする。		
			事業費	488	432	421
04	まちなか賑わい創出拠点整備事業	商工観光課	目的	田島地区中心市街地の活性化に向けた方策を検討し、にぎわいのあるまちづくりを推進する。		
			概要	商工会に業務を委託し、まちなか楽座を拠点とした観光案内や情報発信、にぎわいづくり事業の企画、商店街修景整備事業を行った。		
			成果	まちなかの観光案内業務等年間1,935人の利用があり、商店街修景整備事業では、2店舗で日除け暖簾の設置による修景整備が行われた。		
		商工振興係	問題	地の利を生かした事業展開がされておらず利用者が減少しており、経費に見合った効果が得られていない。		
			対策	③廃止 エリアプラットフォームの意見を踏まえ、今後の活用を検討していく。		
			事業費	5,906	5,871	5,016
05	関係人口創出事業	総合政策課	目的	町外在住の方が町のために情報発信することやまちづくりに関わることで地域づくりを将来担えるような人材・関係を創出する。		
			概要	町外在住で町と関わりを持ちたいといった方と交流し、地域内外の人材交流と経済・社会活動の振興を図った。		
			成果	オンラインイベントや現地プログラムを実施し、地域に深く関わる取組を進めた。		
		企画政策係	問題	イベント等を実施しても、参加者が固定化されつつある。		
			対策	②縮小 これまでの取組から得られたつながりを、さらに拡大できるようSNSを利用した情報発信に努める。		
			事業費	0	3,690	3,130
06	中心市街地にぎわいづくり事業	商工観光課	目的	町内事業者等が主体となった取組に対する支援を通して、住民が主体となったまちづくり意識の醸成を図る。		
			概要	町内事業者等が連携して取組む中心市街地の活性化や賑わいづくりに資するイベント等の開催経費を助成する。		
			成果	イベントの開催経費を助成することで、中心市街地の賑わいづくりと町民主体のまちづくりの意識の醸成が図られた。		
		商工振興係	問題	開催地の賑わい創出は図られたものの、中心市街地全体の活性化には至っていない。		
			対策	①継続 事業者の自主性と主体性を高め、住民主体のまちづくりと中心市街地の活性化を目指す。		
			事業費	0	0	288
07	人財育成支援事業	総合政策課	目的	SDGsカードゲームを通して、SDGsの実現を体験するとともに、本質と可能性を理解するため。		
			概要	2030年の世界がどのようなになっているかシミュレーションしながら「なぜSDGsが私たちの世界に必要なのか」「どんな変化や可能性があるか」を体験的に理解した。		
			成果	館岩中学校、田島中学校で実施し、楽しみながら学ぶことができたという声が多く聞かれた。		
		企画政策係	問題	学校から家庭、家庭から地域に浸透するよう努める。		
			対策	①継続 荒海中学校、南会津中学校でも実施を検討する。		
			事業費	110	695	602
08			目的			
			概要			
			成果			
			問題			
			対策			
			事業費			
事業費の合計(千円)			8,472	14,188	13,407	8,548